

**製品名: DPF2 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab10127**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

## 抗原情報

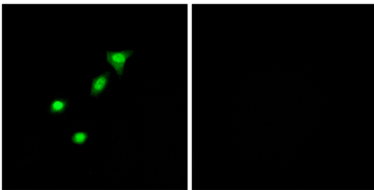
遺伝子名	DPF2 DPF2; BAF45D; REQ; UBID4; Zinc finger protein ubi-d4; Apoptosis response zinc finger
別名	protein; BRG1-associated factor 45D; BAF45D; D4; zinc and double PHD fingers family 2; Protein requiem
遺伝子 ID	5977.0
SwissProt ID	Q92785
免疫原	抗血清はヒト REQU 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

## 背景

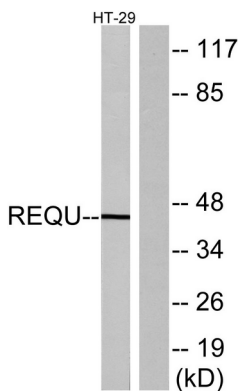
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジンクフィンガー様構造モチーフを特徴とする d4 ドメインファミリーのメンバーです。このタンパク質は、生存因子の枯渇後に生じるアポトーシス応答に必要な転写因子として機能します。これは、急速な造血細胞の増殖とターンオーバーを制御する役割を果たしていると考えられます。この遺伝子は、多発性内分泌腫瘍症 I 型 (副甲状腺、膵臓、および下垂体の多発性腫瘍を伴う遺伝性癌症候群) の候補遺伝子と考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 骨髄細胞からの生存因子の枯渇後に生じるアポトーシス応答に必要な転写因子である可能性があります。また、リンパ球細胞の発達と成熟にも関与している可能性があります。類似性: requiem/DPF ファミリーに属します。類似性: C2H2 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。類似性: PHD 型ジンクフィンガーを 2 つ含みます。細胞内局在: 核の 30%。70% 細胞質内。組織特異性: 普遍的。

## 研究分野

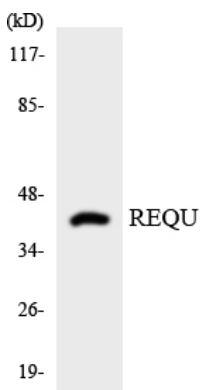
## 画像データ



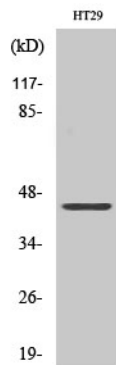
REQU 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



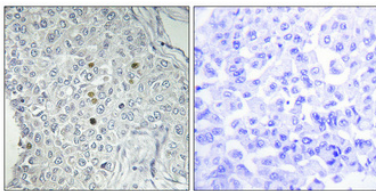
REQU 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



REQU 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



DPF2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。